

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ植立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年5月25日 NO.22 (222)



モンタ博士「花ちゃん・オー君。七小の運動会もそろそろですね。一生懸命に練習して
かっこいいところをたくさん見せて下さいね。ところで、この前、3年生の
Sくんから、めずらしい植物をもらったので、今日はそれを紹介するね。」

花ちゃん 「どんな植物なのですか。」

オー君 「何か手に持っているようですね。」

モンタ博士「あのね、3年生のSくんが持っているのが『ブラシノキ』というものだよ。」

オー君 「へえー。おもしろい名前の植物ですね。」

花ちゃん 「校長先生も何か持っているようですね。」

モンタ博士「校長先生が持っているのは、本物の『ブラシ』だよ。」

オー君 「いちばん右は、『ブラシノキ』と『ブラシ』のアップの写真ですね。」

花ちゃん 「本当に、そっくりですね。よく似ていますね。」

モンタ博士「植物の世界にはいろいろとおもしろいものがたくさんあるんだね。」

オー君 「『ブラシノキ』というのは、どこにでもあるのですか。」

モンタ博士「日本にはない木で、南半球のオーストラリアという国が原産で、今ではあ
ちこちに観賞用として植えられているんだよ。」

オー君 「へえー世界にはいろいろな植物があるんだ。本当におどろきですね。」

モンタ博士「そうだね。南半球にあるという『バオバブ』の木も見てみたいね。」

花ちゃん 「『ブラシノキ』は赤い花がきれいですね。」

モンタ博士「^{ただ}正しくいうと、^{はな}花やがくはとてちい小さくて、
^{あか}赤く見えるのはおしべとめしべなんだよ。」

花ちゃん「^{はっけん}ということは…。花ちゃんの発見ですが、
『^にネムノキ』に似ていますね。」

モンタ博士「さすが花ちゃん。よい^{ところ}所に気がついたね。」

このように1つの^{しょくぶつ}植物を見て、おどろいたり、^{はっけん}発見したりして、いろいろ
なことに^{きょうみ}興味・^{かんしん}関心を持つことはとても大切なことだね。^{こうきしん}好奇心や^{たんきゅうしん}探究心は、
さまざまな^{がくしゅう}学習のステップになるんだ。どうしてかな？なぜかな？と^{かんが}考
えることは、みんなにとって大切なことなんだね。」

花ちゃん「ねえ、オー君。これからもいろいろな^{もの}物を見たり^{さが}探したりしてくれよう。」

モンタ博士「ところで、このごろてくてくしなくても、七小の^{こどもたち}子供達がいろいろなものを
あれこれと^み見せに来てくれるんだ。それがとてもうれいうれしいね。」

オー君「^みどんなものを見せに来てくれるのですか。」

モンタ博士「^{みぎ}右の写真の^{しゃしん}コクワガタは、3年生のMく
^もんが持きって来てくれたよ。」

オー君「コクワガタなら、七小の^{ちか}近くでもけっこう
^み見ることができるね。」

モンタ博士「それから、アゲハの^{ようちゅう}幼虫は、3年生のM
^もさんが持きって来てくれたんだ。」

花ちゃん「いろいろと^み見せてくれてよかったですね。
モンタ博士！」

モンタ博士「^{しょくぶつ}そうだね。植物や^{こんちゅう}昆虫を通して、いっしょ
にあれこれと^{いちばんたの}おしゃべりするのが一番楽
いね。これからも、いろいろなものをじっくりとしっかりと^み見ていこうね。」

オー君「これから、^{なつ}夏になると虫の^{むし}季節きせつですね。楽しみたのみですね。」

モンタ博士「あ！^{あし}そうだ。コクワガタの足の先の^{さき}様子のお話はなしとか、アゲハが^{よゆうす}寄生蜂はなしにや
れずに、^{せいちゅう}ちゃん成虫になれるかななどのお話を、^{はなし}また今度こんどね。」

